

## 学校現場として有事に立ち向かう

北海道美瑛高等学校長 升 田 重 樹

令和2年度がスタートしてから早2ヶ月が経とうとしています。2月下旬の全国一斉休校要請から始まり、現時点においても厳しい状況が続いています。今は平時ではありません。有事には「スピード感」ある対応が重要となってきます。私自身、学校の責任者として、誰かのせいにしたり、議論ばかりしたりしているわけではありません。

そのとき必要な情報を共有しながら、本校（美瑛高校）として何をするのか、何ができるのか答えを出して行動するしかないと考えています。

これからは教員主導の授業だけに頼るのはむずかしくなってくることでしょう。今後、学校に強く求められるのは、「自ら学び、自ら判断し、自ら行動することができる人間」の育成です。特に高校生は直近の課題として求められるでしょう。今までに経験したことのない事態に動揺することもあります。これまでの学校の「当たり前」や慣行を変えていくことも必要となります。高校生に関わる各種スポーツ大会やイベントの中止という事態も、部活動等の指導のあり方を見直す機会になるでしょう。学校が再開されたら、元に戻して今までどおりにやればよいという簡単なことではありません。生徒、保護者、社会、そして私たち教職員自身の意識も大きく変化していかなければなりません。

最後に私見になります。新型コロナウイルスに対して様々な報道がされていますが、冷静に見ると、日本の犠牲者は、主要国のなかで圧倒的に少ない状況です。日本のスタイルとして、清潔さと忍耐の価値を教えた保健指導や生徒指導の果たした役割は大きいのではないのでしょうか。各現場のみなさんの奮闘に心から敬意を表し、学校も常にエンジンがかかっている状態であるように、できる限りの努力をしていきます。

## 分散登校開始



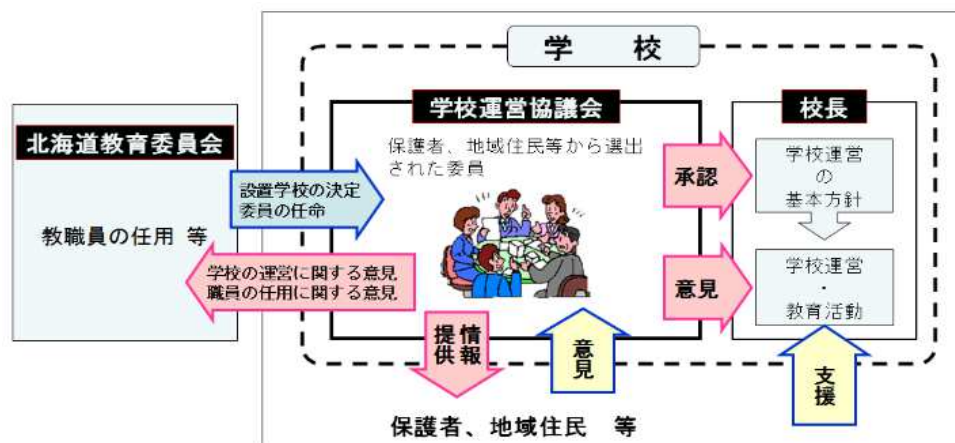
5月12日(火)から14日(木)までの3日間、そして5月18日(月)～22日(金)及び5月25日(月)～29日(金)の10日間において、分散登校を実施しました。最初の3日間は健康状態の確認と諸連絡を各学年に分かれて実施しました。5月18日(月)の週は各クラスごとに登校し、6時間授業を実施し、翌週25日からは各学年に分けて登校し、前週と同様6時間授業を実施します。

いつもは「登校するのが当たり前」の環境でしたが、久しぶりの登校ということで楽しみにしていた生徒も多いようでした。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によりまだ流動的ではありますが、6月の学校再開に向けて少しずつ歩を進めてもらいたいと思っています。

なお、6月以降については北海道教育委員会からの通知を受けて後、一斉送信メール及び学校ホームページにてお知らせします。



## コミュニティ・スクールってなあに？



本校はコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置している高校です。道内の公立高等学校でコミュニティ・スクールを設置している学校は年々増加し、今年度4月の時点で20校になりました。

さて、そんなコミュニティ・スクールですが、そもそもどういったものなのでしょうか。北海道教育委員会のページには次のようにあります。

「コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取り組みがおこなわれます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます」※図は上記の内容をわかりやすくまとめたものです。

言い換えれば「地域と密着した学校づくり」を目的とした組織編成であり、「地域とともに発展していく学校」「地域の期待や要望に応えていく学校」づくりのための組織なのです。

本校のコミュニティ・スクールも今年度で3年目を迎えます。これまで以上に地域に密着した教育活動を展開していきます。これまでと同様、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 保護者各位

昨年度末から新年度始まって間もなく臨時休校が続き、ご家庭におかれましても様々な面での「辛抱」や「苦労」があったこととお察しします。本校においても様々な行事等のプログラムが実施できず、大変残念な思いで現在迎えております。

とはいえ、現況を嘆いていては前進は望めませんので、今年度少しずつでも美瑛高校、そして在籍している生徒たちが前進していけるよう、「今できること」「今やらねばならないこと」を大切にしながら、校長を先頭に教職員一丸となって鋭意努力して参りますので、今後のいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。具体的に申せばPTA関係の活動や学校行事に係るお手伝い等、まだまだ見通しがつかない状況ではありますが、それでもお子さんたちのより大きな成長を期すための仕掛けづくりを進めていきたいと画策して参りますので、様々な場面や機会でのお力添えをお願い申し上げます。

また、学校再開になってはおりますが、終息宣言が出たわけではなく、依然として緊張感を持って対応しなければならない場面が多いと考えております。特に新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点において、これまでと同様、手洗いやマスク着用の徹底、3密を防ぐ取組等に努めなければなりません。分散登校の様子を見ていますと、全員ではありませんが気の緩みが見られる面があります（たとえば手洗いが十分でなかったり、こちらから指導しないと3密を避ける状況ではなかったり等）感染者が出てしまったら学校を閉鎖したり等の措置をしなければならず、本校としては忌避したいと考え、今後も継続的に指導して参ります。ご家庭におかれましても併せてご指導やご協力のほどお願い申し上げます。

**コロナウイルスなんかには負けるもんか！  
みんなで乗り切っていこう！**

